

## 大谷伊予柑の生育と果実品質に及ぼす各種台木の影響

— 成木時における樹勢・収量・果実品質および接木部の親和程度と生育との関係 —

本田賢治・藤澤弘幸<sup>1)</sup>・高原利雄<sup>1)</sup>・緒方達志<sup>1)</sup>(大分県柑橘試験場津久見分場・<sup>1)</sup>果樹試験場カンキツ部口之津)

Kenji HONDA, Hiroyuki FUJISAWA, Toshio TAKAHARA and Tatsushi OGATA :

Effect of Rootstock on Growth and Fruit Quality of 'Otani Iyokan' (*Citrus iyo hort ex Tanaka*) — Tree Vigour, Yield, Fruit Quality and the Relation between the Graft Compatibility and Growth on Adult Tree —

若木 (10年生まで) における, '大谷伊予柑' の生育と果実品質に及ぼす各種台木の影響については前報<sup>1)</sup>ですすでに報告されてきた。ここでは, 成木樹 (17年生) について調査した結果, 若干の新しい知見が得られたので報告する。

## 1. 材料および方法

1981年4月, 1年生苗時に玄武岩土壌の圃場に定植されたカラタチ, ヒリュウ, トロイヤーシトレンジ, ユズ, 福原オレンジ, クレオパトラ, ナツミカン, シイクワシャーおよびラフレモン台の17年生 '大谷伊予柑' 各2~4樹を供試した。

1997年10月に樹の生育状況を測定した。また, 1997年12月に接木部の親和程度を観察調査した。1997年12月に収穫し, 果実品質の調査には各樹から5果ずつ供試した。

## 2. 結果および考察

地上部の生育の良好な台木群は, ユズを除いたカンキツ属の台木であり, 17年生樹の樹高は2.7~3.1mであった。生育のやや劣る台木群は, ユズ, トロイヤーシトレンジおよびカラタチ台で, ヒリュウ台は生育がかなり劣り, 樹高1.6mであった (第1表)。

収量は, シイクワシャー, 福原オレンジ, ナツミカンおよびラフレモン台で多く70~85kg/樹, トロイヤーシトレンジ, クレオパトラ, カラタチおよびユズ台は50~60kg/樹で, ヒリュウ台は28kg/樹とかなり少なかった。しかし, 単位樹冠占有面積当たりの収量では台木間の差は比較的小さかった。ただし, クレオパトラ台は6.6kg/m<sup>2</sup>と明らかに少なかった (第2表)。

果実品質は, ヒリュウおよびトロイヤーシトレンジ台は糖度が高く, ナツミカン, ラフレモン, クレオパトラおよびユズ台は糖度が低かった (第3表)。

接木部の親和程度は, ヒリュウ台とカラタチ台が台勝ちになり, その他の台木は台負けになった。Webberの指数と樹高との間には $r = 0.74$ と高い負の相関が認められた (第1図)。

以上の結果, 成木に達した '大谷伊予柑' は地上部の生育が良好な台木ほど収量が多い傾向にあったが, 単位樹冠占有面積当たりの収量はクレオパトラ台を除いて台木間の差は小さかった。果実品質はシイクワシャー台と福原オレンジ台を除いて生育が良好なものは糖度が低い傾向にあった。また, 接木部の親和程度と地上部の生育との間には高い負の相関が認められた。台負けのものほど地上部の生育が優れ, 台勝ちになるにつれて生育が劣った。

## 引用文献

- 1) 高原利雄・緒方達志・河瀬憲次・岩垣 功・村松 昇・小野祐幸・吉永勝一・廣瀬和榮・山田彬雄・高辻豊二・内田 誠: 果樹試報告 26: 別刷, 1994.

第1表 台木の種類と '大谷伊予柑' の地上部の生育

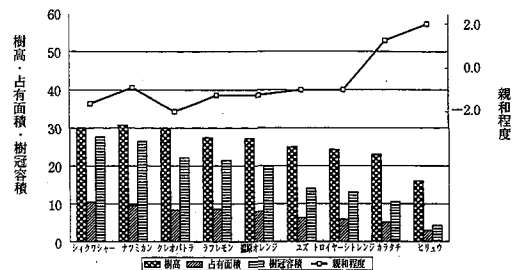
	樹高 (cm)	占有面積 (m <sup>2</sup> )	樹冠容積 (m <sup>3</sup> )	親和程度 (C)
シイクワシャー	300	10.4	27.7	-1.63
ナツミカン	308	9.6	26.5	-0.88
クレオパトラ	300	8.3	22.2	-2.00
ラフレモン	275	8.6	21.5	-1.25
福原オレンジ	273	8.0	19.9	-1.25
ユズ	250	6.3	14.0	-1.00
トロイヤーシトレンジ	243	5.9	13.0	-1.00
カラタチ	230	5.1	10.5	1.25
ヒリュウ	160	2.9	4.2	2.00

第2表 台木の種類と '大谷伊予柑' の収量

	収量		単位樹冠占有面積 当たりの収量 (kg)
	個数	重量 (kg)	
シイクワシャー	328	84.7	8.2
ナツミカン	287	75.2	7.9
クレオパトラ	210	54.6	6.6
ラフレモン	269	68.1	7.9
福原オレンジ	278	76.5	9.6
ユズ	200	47.9	7.6
トロイヤーシトレンジ	215	58.7	9.9
カラタチ	180	51.3	10.0
ヒリュウ	110	28.4	9.7

第3表 台木の種類と '大谷伊予柑' の果実品質

	果実重 (g)	果肉歩合 (%)	果径指数 (カマチャート)	果皮色	糖度 (Brix)	酸度 (%)	糖酸比
シイクワシャー	311	63.9	119	7.9	11.8	1.64	7.18
ナツミカン	311	66.0	122	7.4	11.1	1.53	7.24
クレオパトラ	311	68.2	121	8.0	11.2	1.65	6.79
ラフレモン	275	64.5	119	7.9	11.1	1.68	6.61
福原オレンジ	308	66.1	125	8.1	12.0	1.66	7.23
ユズ	309	65.0	121	7.8	11.1	1.50	7.40
トロイヤーシトレンジ	314	66.0	120	8.3	12.2	1.69	7.22
カラタチ	318	66.2	117	7.6	11.9	1.58	7.55
ヒリュウ	304	67.2	119	8.3	12.3	1.78	6.91



第1図 接木部の親和程度と地上部の生育量